

## CIN 推進支援事業（産学官共同レジストリ利活用プロジェクト）マッチングスキーム 質疑応答集（Q&A）

日本医療研究開発機構（AMED）「CIN 構想の加速・推進を目指したレジストリ情報統合拠点の構築」（事業代表者：国立国際医療研究センター理事長 國土典宏）（以下「CIN 國土班」という。）において、現時点で確認している国内のレジストリの事例集を作成しています。当該事例集には、CIN 國土班で実施した患者レジストリ及びコホート研究調査の公開可能データを中心に、AMED 難病プラットフォーム及び UMIN-CTR 等の公開データが一部加えられています。

企業等とのマッチングを希望しているレジストリの一覧ではありませんのでご注意ください。

（問1）今回のマッチングスキームを利用せずに、直接レジストリ保有機関と交渉し、後の公募の際に研究提案をすることは可能か。

（答）

本マッチングスキームを利用せずに公募に際して研究提案をすることも可能です。応募にあたっては、後日公表される公募要項の記載内容を十分確認してください。

（問2）複数の検討希望書を提出する場合、それぞれの案件で連絡担当者が異なるため、案件ごとに別々にメールを送信して問題ないか。

（答）

個別案件ごとに提出することで問題ありません。

（問3）本プロジェクトにおいて構築したレジストリデータについて、プロジェクト終了後の参画企業による一定期間の独占的な利用など、研究成果の取扱いに関して教えてください。

（答）

本プロジェクトの研究成果の取扱いについては、レジストリ保有機関と企業との事前協議や共同研究契約等により個別に定めて頂くことになります。その際には、AMED ホームページに掲載の「CIN 推進支援事業マッチングスキームの御案内」の「3 研究概要（4）成果の取扱い」並びに「共同研究契約ひな形（案）」を参考にしてください。

なお、参画企業による独占的使用期間が定められるケースも想定されますが、研究の一部は公的な研究費により実施されることから、一定の期間が経過した後は、改修したレジストリを参画企業以外が活用できる形とすることが望ましいと考えます。